

特定非営利活動法人

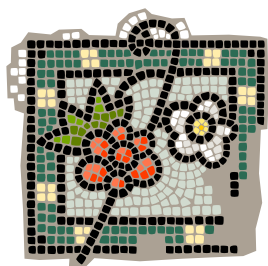
# 市民ユニットりぼん

## 第13回総会議案書

2011年度

### 議事次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 資格審査
4. 議長・議事録署名人 選出 及び 書記任命
5. 議事審議
  - 第1号議案 2010年度事業報告及び収支決算の件
    - I. 2010年度事業報告
    - II. 2010年度収支決算
    - III. 2010年度監査報告
  - 第2号議案 2011年度方針案及び事業計画案  
及び収支予算案の件
    - I. 2011年度事業計画案
    - II. 2011年度収支予算案
  - 第3号議案 理事改選の件
  - 第4号議案 職員代表選出の件
  - 第5号議案 代表理事報酬の件
6. 議長・書記 解任
7. 閉会



開催日時：2011年5月22日（日）10:00～12:00

交流会 13:00～14:30

開催場所：横山南市民センター

# 第1号議案 2010年度事業報告及び収支決算の件

## I. 2010年度事業報告

### ◆ 定款に沿った活動を行いました。

(目的)

第3条 この法人は、市民によるたすけあいの理念に基づき、高齢者・障害者・子育て支援等の活動を行い、自らの生活を主体的に決定する市民自治によるまちづくりと地域福祉の増進に寄与することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、第3条の目的を達成するために、次の種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) まちづくりの推進を図る活動
- (3) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- (4) 子どもの健全育成を図る活動

(事業の種類)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するために、特定非営利活動に係る事業として次の事業を行う。

- (1) 在宅自立援助に関する事業
- (2) 介護保険居宅介護支援事業
- (3) 介護保険予防居宅介護支援事業委託
- (4) 認定調査委託
- (5) 介護保険訪問介護事業
- (6) 介護保険通所介護事業
- (7) 介護保険予防訪問介護事業
- (8) 介護保険予防通所介護事業
- (9) 障害福祉サービス事業
- (10) 地域生活支援事業及び移動支援事業

介護サービスりぼん・ACTたすけあいワーカーズりぼん

1、事業報告

① 2010 年度方針の達成度

- ・本人の望む生活の理解と支援を行います / 概ねできた
- ・本人が安心して介助が受けられるよう、介護技術の獲得を目指します / 概ねできた

②事業実績

事業名	月次ケア目標時間数	2010 年度実績 (12 か月分)	従業者の人数
介護保険訪問介護	300 時間	384 時間	常 勤 2 名
介護保険予防訪問介護	100 時間	67 時間	
障害福祉サービス	250 時間	270 時間	登録ヘルパー 25 名
移動支援	15 時間	時間	
ACT 提携	50 時間	86 時間	
クリーン隊			
合計	715 時間	807 時間	

③評価と課題

目標	評価	課題	対策
責任あるサービスを行います ①危険管理、危機管理、課題解決を行います	次週予定の事前チェックは出来ている 携帯電話の活用で連絡が早く確実に became ケア忘れの減少につながった。	チェック後の変更がある	さらに携帯電話を活用していく。方法として携帯メールのアドレスをもっている人には訪問の携帯に登録を呼びかける。
責任あるサービスを行います ②職員の働きやすい環境整備	サービス提供責任者の不在が多い	働き方がばらばらなので時間を合わせるのが困難。	サービス提供責任者の在籍日（時間）を公表する。定例会の前など様々な場面を活用し職員間でコミュニケーションを取れる機会を積極的に作る。
責任あるサービスを行います ③人員の確保	人員がなかなか増えず、一人チームが増えている	慣れ合いにならないように一線を引くことが必要だが人員の確保が難しくチームが作れない	人員の確保が第一ではあるが、ヘルパーが入ることのできる利用者を増やす。
職員の介護技術、及び問題意識の向上を目指します	必須研修を開催出来た。(介護技術に関しては4回開催) 参加型が多く、メンバー間の交流も深められ	欠席者をどうとらえるか。出席への促しはどうか	メンバーの研修参加が事業所の評価にもつながる。研修参加を仕事としてとらえてもらえるよう研修案内の伝達を

	良かった。 外部講師依頼の場合など2回の開催が困難だった。		工夫し、参加後の感想の公表を行い興味を持ってもらうよう努める。
利用者のニーズを的確に介護計画に反映し、実行します	カンファレンスへの出席は出来た。 チーム会議の開催が出来なかった。	チームメンバー全員の参加は難しい	人数がそろわなくてもチーム会議を開催するサービス提供者の在籍日(時間)を公表し、ヘルパーからのアプローチも行いやすくする。
課題については「サービス担当者会議」等で共有し、解決に努めます	会議への出席は出来た	チームメンバーへの申し送りがメール又はファックスになってしまっている	人数がそろわなくてもチーム会議を開催するサービス提供者の在籍日(時間)を公表し、ヘルパーからのアプローチも行いやすくする。
当事業所において提供困難なサービスについては他団体を紹介する。そのためにも地域のネットワークを構築する	紹介出来た。 新しく「元気広場」との連携が取れた		
個人情報保護に取り組みます	取り組みは出来た		

#### 研修報告について

##### ① 必須研修

1、 介護技術・・・・・・・・ 21名 (出席率 78%)

3回開催し、2月にはさらに1回追加で開催

2、 コミュニケーション・・ 15名 (出席率 56%)

##### ② 事前研修について

・行うことができた

##### ③ 学習会について

・学習会の担当者が今年度の学習会内容についてアンケートをとり、年間の学習会内容を決定した。それにより参加者の希望に沿った学習会にすることができた。処遇改善交付金を使い、学習会参加者に対価をつけることもできた。また、毎回の感想から学習会の必要性、参加型になった学習会の好印象を窺うことができ良かった。「出席できなかった人をどのように参加に導くか」「対価がついた実感が薄い」という感想もあったので、そこを次年度のテーマとしていきたい。

内容 ヘルパー手帳の読み合わせ、学習会の方向性、事例検討(ヘルパーの私物忘れ)、精神疾患のケアの関わり方(外部講師)、救急救命講習(外部)、事例検討(生活援助の段取り)、

調理実習、ゴミの分別(外部講師)、コミュニケーション(ヘルパーとしての言葉選び 外部講師) 介護技術

事故等報告

区分	件数	主な内容
苦情	3件	職員の態度、
事故	(へ) 40件  (サ) 2件	(ヘルパー) 破損(8件) ケア忘れ(4件) ケア内容忘れ(4件) ケアミス身体(2件) ケアミス生活(6件) 遅刻時間間違い(2件) 物品忘れ(13件) 物品持ちかえり(1件) (サービス提供責任者) 手配ミス(1件) コーディネートミス(1件) その他(2件)
ひやり・はっと	件	

事故分析

事故内容	対応	対策
破損	謝罪	
ケア忘れ	謝罪 開始時間の変更、曜日の変更など利用者と相談しケアを提供する	事務所・ケア予定の事前チェック、予定変更の場合はメール、ファックス等で確認する ヘルパー・・・ケア予定のチェック(スケジュールの前日、当日の確認)
ケア内容忘れ	気付いた時点で電話を入れ謝罪。内容によっては訪問し、忘れてしまった「ケア内容を行う」	ケア終了時の確認
ケアミス生活 ケアミス身体		
遅刻・時間間違い	謝罪。 利用者に支障がなければ、訪問した時間からケアを開始する。	事務所・ケア予定の事前チェック、予定変更の場合はメール、ファックス等で確認する ヘルパー・・・ケア予定のチェック(スケジュールの前日、当日の確認)
物品持ち帰り	謝罪。ヘルパーより預かり届ける。	ケア終了時の確認
私物忘れ	謝罪。サービス提供責任者が取りに行き本人へ届ける	ケア終了時の確認
手配ミス		連絡帳を活用し、変更等の経過が誰にでもわかるようにする。

コーディネーターミス		
その他		

ケアプランサービスりぼん

1、事業報告

① 2010 年度方針達成度

〔利用者の自己決定の支援、尊厳の尊重、本人、家族が望む生活の実現〕

- ・ 要望に応えるだけのマネージメントになってしまったという反省はあるが、迅速に情報提供、相談、担当者会議開催を行い意向を尊重した自己決定支援を行った。

② 事業実績

事業名	事業内容	目標担当件数	2010 年度実績	従業員の人数
居宅介護支援	援助計画作成	㊦300 ㊦1008	㊦156 件㊦938 件	常勤 3 非常勤 1
	認定調査	5 件	7 件	常勤 3

③ 評価

目標	評価	課題	対策
<p>選ばれる事業所を目指し、地域に根ざした事業所となります。</p> <p>・ 健康管理 所定労働時間の遵守を徹底し健康に留意</p>	<p>地域包括支援センターより「事業所全体で支援」出来る事業所と評価ある。困難事例依頼多く事業所全体で担当ケアマネを支援しケアマネージメントを行った</p>	<p>精神的負担多く、訪問回数、対応が複雑となり多くの時間を要した為、労働時間が超過することもあり所定労働時間を遵守出来ない</p>	<p>選ばれる事業所として今後も実績を積み評価に値する事業所を目指す。その為の時間を要すことは避けられないが、一か月全体で業務計画を立て効率化を図り健康管理をします。</p>
<p>利用者が望む生活の確保と尊厳の尊重の為に保険者に提言していきます</p>	<p>①生活援助削減の動きに ACT と連携し署名活動等行いました</p> <p>②あらゆる制度（後見人制度、障害福祉制度）を活用し利用者の尊厳ある生活支援に取り組みました。</p> <p>③在宅医療サポート介護支援専門員研修受講しました。</p>	<p>障害者支援の知識、医療的知識が不足している</p>	<p>あらゆる方面の知識習得、地域資源を知り、ケアマネージメントに生かす。 住みやすい地域作りに貢献していきます</p>

利用者ができることを評価し能力を生かしたマネージメントを行っています。	要望に応えるだけのマネージメントになりがちだった	検証力、コミュニケーション力不足	本人の能力評価を行い相談提案支援を行うコミュニケーション力を付ける為研修等の参加を積極的に行いスキルアップを図ります。又八王子市自己点検支援マニュアルを活用したプラン作成を行い検証していきます。
-------------------------------------	--------------------------	------------------	---

## 2、研修報告

(八王子市、連絡協議会主催)

予防ケアマネージメント研修、認知症の理解、プライバシー保護とケアマネ業務  
自己点検マニュアル研修

(外部研修)

在宅医療研修、事例の書き方研修、難病患者支援研修、医療サポーター介護支援専門員研修

(法人内)

接遇、プライバシーの保護研修、倫理、法令遵守研修、精神疾患利用者との関わり  
コミュニケーション研修、感染症研修

## 3、苦情事故等報告

区分	件数	内容と対策
苦情	1件	介護タクシー利用の要望があったが、ケアマネの対応に不満を表した
事故	2件	利用者の都合でサービス計画中止となったが提供事業者に連絡を忘れた

1、 事業報告

① 2010 年度方針の達成度

- ・利用者や家族のニーズにできる限り応えることができた
- ・利用者の状況変化等に関して居宅介護支援専門員との連携が図れた
- ・機能訓練の充実を図ることができた
- ・ボランティアを積極的に受け入れることができた

② 事業実績

事業名	事業内容	利用者目標延べ人数	2010年度実績	従業員の人数
介護保険 予防通所介護	機能訓練 身辺介助等	220件	266件	常勤 2名
介護保険 通所事業	機能訓練 身辺介助等	2000件	2425件	非常勤14名 (運転手2名含)

③ 評価と課題

目標	評価	課題	対策
・利用者や家族のニーズにできる限り応える			
① コーディネーター機能を確立し、利用者及び家族の意向を反映する。	・アンケート調査の結果を共有し、サービスに反映できた。	・聞き取りの報告が徹底されなかった。	・日々の様子等、細かい気づきを記録に残し職員間で共有していく。 ・『記録を書く。記録を見る』習慣を一人ひとりつけていく。
② 職員間の連携を図り、サービスの向上、個別ニーズの把握に努める。	・月1回の職員会議や連絡票、日報、回覧物などの十分な活用ができた。	・利用者の残存機能の活用や個々のニーズを見極めていく力がまだまだ不足している。	
③ 研修の充実を図る	・研修はそれぞれ受講することがほぼできた。	・それぞれに最も必要とする研修を受講できていない。	・会議等で研修内容を検討し、一人ひとりが必要とする研修を受講する。
・ケアマネージャーとの連携を図る	・月末の報告や変化の報告をその都度、連絡することができた。	・営業後の報告になる為、生活相談員の労働時間が超過してしまう傾向にあった。	・営業時間中に報告の業務を行えるようなシフトを組む必要がある。



<p>・個別機能訓練の充実を図る。</p>	<p>・研修を受講し、機能訓練の内容や計画書の見直しを行うことができた。</p> <p>・おやつ作りや日々のプログラムの充実を図ることができた。</p> <p>・花見など外出の機会を多く持てた。</p>	<p>・個々にあった機能訓練の内容を日々見直せなかった。</p> <p>・レクリエーションがマンネリ化してきている。</p>	<p>・計画書に基づき日々見直しができるようにし、介護職員と看護職員の連携をとる。</p> <p>・レクリエーションの学習会を持つ。</p>
<p>・ボランティアの活用等、利用者の利益の拡大を図るよう努めます。</p>	<p>・利用者のニーズにあったボランティアを受け入れることができた。</p> <p>・八王子市ボランティアポイント制度を利用しながら、継続的なボランティアも定着してきている。</p> <p>又、研修生の受け入れも積極的にできた。</p>	<p>・地域、近隣との関わりをあまり深めることができなかった。</p>	<p>・今後、地域でできることを考えていく。</p>

④ 研修報告

[外部研修]・個別機能訓練における評価とそのリスクマネジメント

- ・食品衛生実務講習会
- ・利用者が求めるディサービスとは何か
- ・キャリアパスとは何か
- ・権利擁護研修
- ・手作り作品講習
- ・うつ病の周辺

[内部研修]・尊厳を守るケア

- ・ノロウイルス対策
- ・認知症の理解
- ・感染症、食中毒予防
- ・緊急時、災害時対応
- ・プライバシー保護、個人情報保護
- ・リスクマネジメント

[法人] ・認知症 その心の世界

- ・コミュニケーション技術講座

⑤ 苦情事故等の報告

区分	件数	内容
苦情	0件	
事故	4件	<p>① 利用者さんの膝に毛布をかけようとして、お膳にあったお茶をこぼしてしまった。</p> <p>② 昼食後、椅子に座っている利用者の方を、椅子ごと移動した際、座っている方が椅子から滑り落ちて尻もちをついてしまった。 (耳が遠く、立位が厳しい方)</p> <p>③ 入れ歯をひだまりの家に忘れていき、夕食を食べる時に本人が気づく。</p>

		<p>④ トイレの便器から立ち上がり、下着を着用しようとしていた時に転倒してしまう。</p> <p>(少しふらつきがある方だったので、カーテン外で見守り、下着の上げおろしは本人ができる限りするようにしていたが、いつもより利用者さんが早くに立ちあがっていた。)</p>
事故の対応・予防策		<p>① 膝かけをかけた時、下の方からかけるなど注意が必要。</p> <p>② いろいろな要因が考えられたが、</p> <p>ア) 耳が聞こえにくいためしっかり耳元でこれからの動作を説明し理解を得てから行動に移すこと。</p> <p>イ) 座り方が浅くないか、滑りやすい座布団ではないか等、確認し、座り直しをして体を支えながら、椅子を動かすこと。</p> <p>ウ) それぞれのスタッフが介助を焦らないような環境を作っていくこと。</p> <p>③いつもと違う物の持ち帰り等、忘れ物をしないようにする為に、通い袋にメモをクリップで挟むようにした。</p> <p>④その日の身体状況がいつもより良くなかったことを把握しきれていなかった。下着の上げおろしを見守り、状況によっては介助をするようにした。排泄中はカーテン外より見守り、その場を離れないこととした。手すりバーを斜めから直角に移動することにした。</p>
ヒヤリハット	1件	<p>① 洗面所でうがいをしようとしていた利用者さんがコップの中に手洗い用の液体石鹼を入れていた。(『うがい薬』と思ったとのこと)</p>
ヒヤリハットの対応策		<p>① 液体石鹼を置かないこととした。固形石鹼をネットに入れてつるすこととした。</p>

⑥ 人事退職報告

⑦ 人事採用報告

⑧ 研修生受け入れ報告

・看護師 2名

・介護員 1名・看護師 3名

・梶田中学校・第七中・第一中学校・長房中・打越中

・教職員実習生 (玉川大学)・駒沢大学生

## 総務・法人事務局

- 労務管理、財務管理、法人会員管理、職員管理を実施しました。
- セキュリティ管理
  - ① 個人情報保護に関して職員向けの教育研修を部門管理者と共に実施しました。
  - ② 防災体制を見直し、担当および行動の明確化、機器のチェックを実施しました。
- 安全衛生管理
  - ① 毎月衛生委員会を開催しました。
  - ② 従業員健康状況報告

	件数
労災申請	0
勤務制限必要者	0
休業必要者	1
出勤停止者	0
復職者	1

- 会員加入 2010年度 4名
- 退会者 2010年度 4名
- 法人主催の研修「コミュニケーションスキルアップ研修」を1回実施しました。
- 研修報告
  - ①代表者研修
    - ・ たすけあいワーカーズの可能性
    - ・ キャリアパスについて
  - ②総務研修
    - ・ 労務研修
    - ・ 年末調整研修
    - ・ NPO 会計研修

## 会員活動

### 2010 年度活動方針の達成度

地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。その方法として会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます。

／忙しい業務の合間に各々が出来る範囲で会員活動に取り組むことが出来た。

#### ① 地域活動

ACT いきいきサークル支援	<p>「絵画クラブアトリエ友」「自然を楽しむ会」「それいゆ（リコーダー）」「サークル KK」「ほっとスペースでのひら」の 5 サークルが活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自然を楽しむ会…今年は山登りに 3 回行けました。6 月に行われたホテルを見る企画では久しぶりにホテルの姿を見て懐かしい思いに浸りました。今年度も良い思い出がたくさんできました。</li><li>・それいゆ（リコーダー）…毎月 1 回、ひだまりの家にてリコーダーの練習をしました。ひだまりの家の音楽会、夢きっず、生活クラブのデポ・試食会などで演奏することができて、練習の励みになり、交流も深まりました。</li><li>・サークル KK…11 月「治りませんように」-ベテルの家の今-講演会参加、12 月「ホームヘルプでリベンジしよ」 3 月 99 歳の詩人・柴田ヨさん「くじけないで」観賞会、おむつの選び方</li><li>・絵画クラブアトリエ友…毎月第 2 土曜日の 13 時から 16 時まで活動しています。今年度は 10 回活動しました。毎回、おもにお花をテーマに作品展に向けての作品作りをしました。お茶とおしゃべりをまじえながら毎回楽しく活動しています。</li><li>・ほっとスペースでのひら…「毎回 10～15 名の参加者で月に 1 回、発達気になる子供を持つ母親と、このような活動に興味のある方が集まり、交流をしています。さらに市役所の出前講座や特別学級の先生、臨床心理士との懇談会を開きました。</li></ul>
----------------	--

<p>広報「おはなし りぼん」</p> <p>「ホームページ更新」</p>	<p>・年2回発行ながら、できるだけ季節感や話題性に留意した企画にできた。また限られた予算の中で、写真や無料イラストをなるべく使用し、少しでも読みやすい楽しい誌面になるよう腐心。利用者や地域の方々への情報提供に努めた。</p> <p>・ホームページ作成出張レッスンを受けながら、リニューアルを目指したが、今年度中のリニューアルは出来なかった。今後、トップページのみ外部作成依頼する可能性ありますが、近々に公開したいと考えている。</p>
ACT 公開講座	ACT と連携し公開講座を実施しました。テーマは「認知症＝そのころの世界＝」。14名が参加し、ロールプレイによる模擬演技者の方々の言葉で、様々な気づきがケア者に生まれました。これからのケアに生かしていきたいです。
障害者就労支援	実施できなかった。
出前介護教室	ご家族には「困難で、時間がかかる」とのベッド上のおむつ交換をサ責が訪問し行った。体位の変換、おむつの当て方は説明し、行ってもらったりもした。
交流会「結びの会・りぼん」	<p>第5回 結びの会りぼん を10月24日（日）東浅川保健福祉センターで開催しました。</p> <p>ご利用者の作品の展示、マンドリンとギターの演奏、ゲーム、又昼食は加多厨の手作りのお弁当を頂いて、メンバーとご利用者、ご家族との交流が図れました。今回40名の参加がありました。</p>
被災地等への寄付金活動 (いちよう祭りでのバザー)	・11月20日（土）8時半～17時まで、長房市民センター河川敷わくわく広場で、被災地等寄付金活動バザーを実施しました。手作りこんにやくなどを販売し、地域の方との交流もできました。売上金11,000円を東日本大震災に日本国際ボランティアセンターを通して寄付させていただきました。前日の準備も含めて30人ほどのりぼんメンバーが参加しました。
在宅心身障害者緊急一時保護 登録支援	推進した。
まちづくり市民運動・政策提 言	地域で暮らす生活者として、まちづくりや環境、食の安全等を定例会等で話し合い、生活クラブ運動グループ地域協議会等と連携して課題に取り組みました。
2級資格者カバンバックセミナー	外部からの参加者はいなかった。現職の介護技術研修も兼ねていたため、セミナーは実施した。次年度も継続実施としたい。

## ② 法人内活動

ひだまりの家支援	・毎月1回、5～7名の庭ボランティアの方がひだまりの家の庭の手入れをしてくださいました。春は色とりどりの花が咲き、夏はキュウリやミニトマトの収穫が出来ました。また、いただいたキンカンの木を、たっぷりの肥料を入れて地植えしてくだ
----------	---

	<p>さったりしています。いつも気持ちの良い庭を楽しむことができ、利用者の方に大変喜んでいただくことができました。</p>
<p>介護サービスりぼん支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習会ボランティア 開催した学習会はどれも必要と感じられるものだった。出席できなかった人を今後どのように出席に導くかが次年度のテーマと考える。</li> <li>・「ヘルパーの働き方を考える委員会」 厚生労働省からの処遇改善交付金を活用し、ヘルパーが自信を持ち安定してこの仕事を続けられるようにするため、まずヘルパーに対して働き方に関するアンケートを実施し、各自の考えを聞き取った。今後はこれを参考にしつつ、処遇改善を図っていきたい。</li> </ul>
<p>救急救命講習会</p>	<p>外部研修を利用し、2名が参加した。</p>
<p>会員交流会</p>	<p>5月23日（日）台町市民センターでの総会の後、28名の参加のもと開催。今回は「自分とりぼんとの関わりを見つめ直そう」というテーマのもと「りぼんのあゆみ」を振り返り、「これからの自分とりぼん」についてグループディスカッションを行いました。各グループとも話が弾み、さまざまな夢が語られました。</p>

## Ⅱ. 2010年度決算報告の件

## Ⅲ. 2010年度監査報告

## 第2号議案 2011年度方針案及び事業計画案及び収支予算案の件

### I. 2011年度方針案

#### ○ NPO 市民ユニットりぼんの目的

市民によるたすけあいの理念に基づき、高齢者・障害者・子育て支援等の活動を行い、自らの生活を主体的に決定する市民自治によるまちづくりと地域福祉の増進に寄与することを目的とする。

#### ○ 市民によるたすけあいの理念とは

- ・ お互いの尊厳を尊重し、たすけたり、たすけられたりという相互扶助の精神を大切にします。
- ・ 「どんな状況においても自分のことは自分で決める」という自己決定を尊重します。
- ・ 自分の常識にとらわれず、多様な方法で問題解決を図ります。

#### ○ 経営理念

自分自身が利用したいと思えるサービス事業者を目指します。

- ・ 経営基盤を確立し安定した経営を目指します。
- ・ 利用者の意思や人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供します。
- ・ 利用者や家族が安心して生活できるよう支援します。
- ・ 地域住民又はその自発的な活動等との連携及び協力を行うなど、地域との交流を推進し、地域福祉サービスの拠点を目指します。

#### ■ 安定した経営基盤の確立と、地域に根ざした法人を目指します。

介護保険サービス事業へ参入して11年が経過した私たちは、事業存続のため、経営の苦しさも運営の厳しさも、共に共有し、励まし、努力して来ました。

介護職員不足による労働の偏重、会員活動の停滞、等様々な問題に直面している現在ですが、今一度、設立目的、経営理念を胸に、一人一人がモチベーションを持ち、叡知を出し合い、誰もが住みやすいまちづくりを目指し、「NPO 法人市民ユニットりぼん」だからこそ出来ることを自由な発想で、豊かな活動を行っていきます。

#### ■ サービス提供体制の充実を図ります。

- 「チーム会議」「職員会議」「部門ミーティング」等を十分に機能させ職員間のコミュニケーションを図ることで、働きやすくやりがいのある職場を目指します。
- 法人各事業所共通の「ケアサービスの質の向上」をめざし関連部門と連携をとりながら、スピーディな決定と実行をめざします。
- 各事業所の経営体制を安定させるため、理事会および理事運営会議、管理者会議において、各事業所の経営状況を把握、分析を行い経営改革を迅速に行います。
- 苦情及び事故等の処理を円滑かつ迅速に行うために苦情事故等検討委員会を開催し、再発防止することでケアサービスの質の向上を目指します。
- 個人情報保護に取り組みます。



○介護サービス情報の開示を実施します。

○職員の意識改革と資質の向上（各種研修への積極的参加により職種ごとのスキルアップを図る）を図ります。

○法人主催ですべての職種に共通した研修を実施します。

○職員の健康に配慮し、より良いサービスの提供に努めます。

■「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーンに賛同し、「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」のための活動を推進します。

○地域包括支援センター等と連携し、認知症になっても安心して暮らせる町づくりに取り組みます。

○ACT主催「認知症・地域づくりコーディネーター養成講座」の受講を推進します。

## II. 2011 年度事業計画案

介護サービスりぼん・ACTたすけあいワーカーズりぼん

事業内容：介護保険予防給付事業、介護保険介護給付事業  
障害福祉サービス、八王子市移動支援事業  
自立支援事業（ACT 提携事業、なんでも隊）

- 1、 月次目標時間数 介護保険・350 時間／介護保険予防訪問介護・70 時間／  
障害者福祉サービス 280 時間／移動支援・15 時間  
ACT・60 時間
- 2、 従業員数 /常勤 2 名， 常勤ヘルパー 1 名 時間拘束型ヘルパー 2 名 登録 25 名
- 3、 事業運営方針
  - ・ 本人の望む在宅生活の理解と支援
  - ・ 本人が安心して介助を受けられるような技術の獲得
  - ・ 責任ある労働の提供
  - (1) 責任あるサービスを行います
    - ①危機管理、危険管理、課題解決
      - ・ 事故報告、ひやりはっと報告の推進をはかり、解決方法を全員で共有する
      - ・ ケア予定の事前チェックを行い、携帯メール等を利用した連絡体制をより徹底していく
      - ・ 仕事カードなど情報の更新を適時速やかに行う
    - ②職員の働きやすい環境整備
      - ・ 新規ケア開始時、メンバー交替時に研修を行う（事前研修の実施）
      - ・ サービス提供責任者に相談しやすいよう、在籍日（時間）を公表する
      - ・ 個人面談の実施
    - ③人員の確保
      - ・ ケア調整の公表、継続を前提に登録ヘルパーの参加を呼びかける
  - (2) 職員の介護技術及び問題意識向上を目指します
    - ・ 事業所の年間研修計画を作成し、計画に基づいての受講の推進を図る
    - ・ 学習会を業務と位置付ける（月 2 回の開催を継続し、全員参加を徹底する）
    - ・ 必須研修のテーマについては複数回取り組み、技術、知識の定着を図る
  - (3) 利用者のニーズを適確に介護計画に反映し、目標達成を目指します
    - ・ サービス担当者会議後、介護計画作成のためのチーム会議を開催する
    - ・ 状況変化、ケア目標の共有が常に出来るようチーム会議を開催する
  - (4) 課題について「サービス担当者会議」等で共有し、解決に努めます
    - ・ 必要があれば当事業所から要請する
    - ・ 利用者の状況報告を書式にて毎月報告し、状況に変化があった場合は適時ケアマネに報告する
  - (5) 当事業所において、提供困難なサービスについては他団体を紹介する
    - ・ 公共機関や、インターネットを活用し地域のネットワークを構築する
  - (6) 個人情報保護に取り組みます
    - ・ 法人の個人情報保護方針にそって取り組みます

- 1、 事業内容：介護保険居宅支援事業（介護プラン、予防プラン、認定調査、相談業務）
  - 2、 目標担当件数 84 件/月（介護プラン）管理者 25 件 常勤 A 28 件 常勤 B 22 件  
非常勤 9 件  
25 件/月（予防プラン）管理者 8 件 常勤 A 8 件 常勤 B 6 件 非常勤 3 件  
5 件/年（認定調査）
  - 3、 従業員：4 名
  - 4、 事業所運営方針
    - ・介護保険基本理念である利用者の自己決定の支援、尊厳の尊重を常に念頭におき支援をします。
    - ・利用者、家族が望む生活が実現できる様、チームアプローチを充実し支援します。
- (1) 従業員の精神的、身体的健康を守りつつ、安定した事業運営を目指します。  
過度な負担がかからない様、役割分担を行ったり、業務のスムーズ化を図る為  
事前の留守電チェックを行い迅速な対応ができるよう努めます。  
要介護者、主介護者の精神的、身体的状況により収入の不安定さはあるが、介護プラン  
月平均 1,007,000 円 予防プラン月平均 99,000 円の収入を維持し、努力、工夫を図り  
経費の削減に取り組みます。
- (2) サービス提供体制強化のための方策
- ・「選ばれる事業所」を目指し相談機能の充実を図り、地域に根ざした事業所となります。
  - ・地域包括支援センターと予防プラン委託契約をし、高齢者世帯の支援に取り組みます。
  - ・セルフプランの説明を行い、希望があれば支援をしていきます。
  - ・八王子市居宅支援事業所連絡会と連携し利用者が望む生活の確保と尊厳の尊重の為、保険者へ提  
言していきます。
  - ・月～土まで営業を行い、多様な利用者の要望に迅速に応えることが出来るよう支援します。
- (3) サービス質の向上
- ・事故、苦情、ヒヤリはつと例を事業所内で共有し再発を防ぎます。
  - ・評価アンケート（年 1 回）自己評価（年 1 回）を実施し、質の向上に努めます。
  - ・「特徴ある事業所」として認知症支援やターミナルケア、障害者支援の知識習得の為、研修参加、  
事例検討等を行い研鑽に努めます。
  - ・利用者が出来ることの評価を行い、持てる能力を生かしたマネジメントを行っていきます。
  - ・インフォーマルサービスや地域力を活用したマネジメントを行い希望を持った、楽しい生活が  
継続できるよう八王子市自己評価支援マニュアルを活用し、支援します。
  - ・予防マネジメント、認定調査の研修に参加し、質の向上に努めます。
  - ・地域包括支援センター主任ケアマネや居宅支援事業所連絡会と連携し積極的に助言を受けます。
- (4) 職員の処遇
- ・健康管理 健康診断の実施 所定労働時間の遵守を徹底し健康に留意する。
  - ・会議 朝のミーティング、月 1 回の業務会議を実施し、情報の共有化を図り客観的な視点で  
支援が行える体制を目指します。
  - ・研修 現任研修 認定調査研修 予防マネジメント研修 ACT 研修、  
八王子市居宅支援事業所連絡会研修 八王子市主催研修 外部研修

## ひだまりの家

1. 事業内容 : 介護保険予防給付事業・介護保険介護給付事業
2. 営業日 : 月・火・水・木・金
3. 利用定員 : 15名/日
4. 目標利用者数 : 10名/日 (予防2名、介護8名)
5. 従業員数 : 常勤3名、(生活指導員2名、介護員1名)  
非常勤14名 (介護: 7名 看護: 3名 調理: 4名  
ドライバー: 2名)

### 6. 施設運営方針:

\*小規模通所施設を活かし、家庭的な施設を目指します。

\*利用者の在宅生活が継続できるよう日中の生活を支援します。

- ・利用者及び家族の意向を反映していきます。
  - ・個別ニーズの把握に努め、在宅生活の継続を支援します。
  - ・職員間の連携を図り、サービスの向上に努めます。
- ・ケアマネージャーとの連携をすすめます
- ・個別機能訓練の充実を図ります。
  - ・機能訓練の一つとして近隣の外出企画をたて実施します。
  - ・おやつ作りや日々のプログラムの充実を図ります。
- ・ボランティアや地域の方の受け入れを積極的に行います。
  - ・皆で喜びを共有できる場を多く設けていきます。

### 7. 主な行事予定

4月	花見 草餅作り	8月	納涼祭 うどん作り	12月	クリスマス会・ 忘年会・どら焼き作り
5月	避難訓練・柏餅作り らっきょう漬け	9月	敬老の祝い 豆腐白玉作り	1月	新年会・かるた大会 おやき作り
6月	音楽会・梅干漬け あんパン作り	10月	室内運動会・ お月見団子作り	2月	豆まき・味噌作り 五平もち作り
7月	七夕・ 酒饅頭作り	11月	避難訓練 芋茶巾絞り	3月	雛祭り・文化祭 桜餅作り

### 8. 栄養管理:

- ・管理栄養士による献立作成を行い、毎月配布します。
- ・季節の素材を取り入れ、きざみ食等、個別対応もしていきます。
- ・誕生会メニューや行事メニューを取り入れます。

### 9. 安全衛生管理:

- ・手洗い・うがいを徹底し感染予防に努めます。
- ・食品等の衛生管理に努めます。
- ・調理スタッフの年4回の検便を実施します。

10. 危機管理：

- ・ヒヤリハットを見落とさず、報告していきます。
- ・事故、ヒヤリハット報告を共有し事故の再発防止を徹底します。
- ・職員間の連携に努めます。(日報・連絡票・休憩室掲示。会議)

11. 災害対策： ・避難訓練 年2回

12. 地域社会との連携：

- ・利用者のニーズに応え、地域や他団体との交流を深めます。
- ・内容を具体化し、多様で継続的なボランティアの確保に努めます。
- ・研修生や実習生の受け入れを積極的にしていきます。

13. 職員の処遇

- (ア) 健康管理： ・健康診断／年1回 ・検便／年1回
- (イ) 会議： ・職員会議 月1回 ・サービス会議 随時  
・ドライバー会議 随時 ・ACT 通所会議 年4回
- (ウ) 研修計画： ・緊急時・災害時対応研修 ・リスクマネジメント  
・コミュニケーション技術研修  
・感染症・食中毒予防、対応研修  
・レクリエーション研修 等
- (エ) 質の向上：「自己評価チェック」及び個人面談の実施

14. 施設管理： ・大掃除／年2回 ・車いす,備品等の点検／随時  
・庭の手入れ／月1回

## 総務・法人事務局

- ▶ 法人の円滑な労務管理、財務管理、法人会員管理、職員管理を目指します。
  
- ▶ 法人の円滑な運営の充実を目指します。
  - 1、個人情報保護に取り組めます。
    - ・ 情報セキュリティ委員会を随時開催します。
    - ・ 職員向けの研修を各部門管理者と共に開催します。
  - 2、安全衛生管理に努めます。
    - ・ 毎月衛生委員会を開催します。
    - ・ 従業員の勤務時間の管理を徹底します。
    - ・ 従業員の健康を維持するために定期健康診断受診を促進します。
    - ・ 従業員の健康状況を各部門管理者から報告を受け把握します
  - 3、ネットワーク活動を推進します。
  - 4、法人主催の研修を実施します。

## 非常時経済支援事業（アビリティ共済）

ACTと『少額短期保険情報提供等委託契約』を締結し、情報提供活動を行います。

## 会員活動部門

地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます。

### ①地域活動

- ◇ ACT 公開講座を地域で実施します。
- ◇ 「ACTいきいきサークル」の活動を推進します。
- ◇ 地域の他団体の活動の場として、ひだまりの家を提供していきます。
- ◇ 障害者就労体験の場を提供します。
- ◇ 広報紙を継続して発行します。
  - ◎広報紙「おなはしりぼん」
    - ア. 会員および地域に向けて、年3回発行（6月、10月、2月）。今年度は、より広く会員の参加(各種作品発表等)を募り、交流の場としての機能を高める。
    - イ. より暮らしに密着した具体性のある情報提供を意図した企画にする。
  - ◎ホームページで広く法人の活動を広報していきます。
- ◇ 出前介護講習  
在宅介護初心者の自宅に向いて介護方法等の講習を行い、介護者を支援していきます。
- ◇ 在宅心身障害者緊急一時保護制度が利用できるよう会員の介護人登録を推進します。  
但し「コーディネート」は行いません。

- ◇ 交流会「結びの会・りぼん」  
りぼん会員、ACT 会員、利用者、業務職員の垣根を越えての交流会を実施します。
- ◇ 被災地等への寄付金活動  
いちょう祭り等を活用して、バザー等の売上金を寄付する活動を行います。
- ◇ 市民運動・政策提言  
◎地域で暮らす生活者として、まちづくりや環境・食の安全等を定例会等で話し合い、生活クラブ運動グループ地域協議会などと連携して課題に取り組んでいきます。
- ◇ 他団体と共に地域福祉の向上及びまちづくりのための政策提言活動を行います。
- ◇ 地域包括支援センター等と連携し、「認知症を知り、地域をつくる 10 ケ年計画」を推進します。
- ◇ 子育て支援のボランティアを推進します。

## ②法人内活動

- ◇ ひだまりの家支援を行います。  
◎庭作りボランティア  
◎登録ボランティア
- ◇ ホームヘルプ部門支援をします。  
◎ヘルパースキルアップ支援（学習会企画）
- ◇ 救急救命講習を実施します。
- ◇ 会員交流会を実施します。

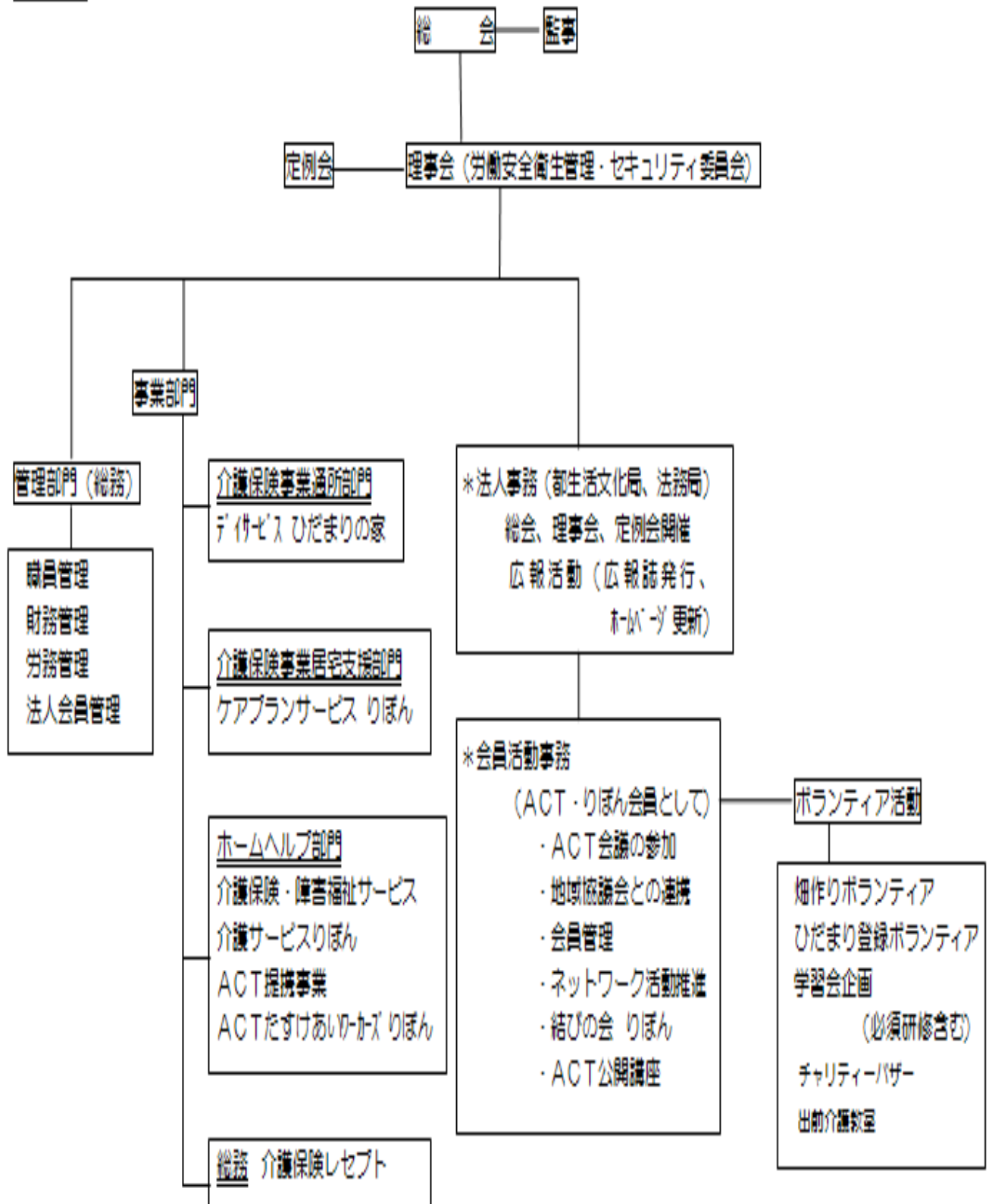
\*\*\*\*\* 2011年度 年間行事（日程、内容は変更することもあります）\*\*\*\*\*

月	担当理事	内 容	ボランティア
4月			
5月		2011年度総会后交流会実行委員会	終了
6月		広報紙	
7月		救急救命講習	
8月		ACT 公開講座（日程は未定）	
9月			
10月		地域交流会「結びの会・りぼん」 広報紙	
11月		被災地寄付金活動（いちよう祭り）	
12月			
1月			
2月		広報紙	
3月			
4月			
5月		2012年度総会后交流会実行委員会	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひだまりの家」庭作りボラ…</li> <li>・「ひだまりの家」登録ボラ…</li> <li>・学習会企画・運営ボラ…</li> <li>・就職セミナーボラ…</li> <li>・広報ボラ…</li> <li>・ホームページ更新ボラ…</li> </ul>			

- 共済担当・・・
- 法人研修・・・



**組織図**



## Ⅱ. 2011 年度予算(案)の件

	居宅支援	通所介護	訪問介護	総務	共通	合計
<b>&lt;収入&gt;</b>						
売上高	13,310,580	27,600,000	23,400,000			64,310,580
会費収入1					150,000	150,000
寄付金収入1					50,000	50,000
助成金収入1		480,000	1,200,000		50,000	1,730,000
売上高合計	13,310,580	28,080,000	24,600,000		250,000	66,240,580
<b>&lt;支出&gt;</b>						
役員報酬					240,000	240,000
給料手当	8,343,600	17,790,000	18,762,000	1,396,880	330,000	46,622,480
法定福利費	1,260,000	1,260,000	1,400,000	20,000		3,940,000
福利厚生費	10,500	44,000	55,000	4,000		113,500
広報費					140,000	140,000
会議費					40,000	40,000
会員活動費					50,000	50,000
旅費交通費	235,200	522,000	225,800	48,000		1,031,000
通信費	250,000	110,000	130,000	20,000	360,000	870,000
消耗品費		200,000	20,000		30,000	250,000
水道光熱費		336,000			280,000	616,000
諸会費	5,000	10,000	3,000		25,000	43,000
支払手数料					60,000	60,000
車両費	260,000	400,000	440,000			1,100,000
リース料	281,736	140,868	281,736		500,000	1,204,340
保険料					205,000	205,000
地代家賃	252,000	1,716,000	348,000		1,200,000	3,516,000
租税公課					50,000	50,000
雑費(情報開示)	22,500	28,000	30,000			80,500
印刷費	30,000	40,000	30,000		260,000	360,000
材料費		1,260,000				1,260,000
研修費	33,000	25,000	88,800		30,000	176,800
スキルアップ奨励費					200,000	200,000
新聞図書費	10,000	20,000	20,000			50,000
ACT 分担金					600,000	600,000
保守料	75,000	39,000	75,000	84,000		273,000
ケア交通費			780,000			780,000

介護用消耗品費		60,000	30,000			90,000
減価償却費					1,166,000	1,166,000
支払報酬					80,000	80,000
予備費					450,000	450,000
販売管理費計	11,068,536	24,000,868	22,719,336	1,572,880	6,296,000	65,657,620
<b>&lt;営業損益&gt;</b>	2,242,044	4,079,132	1,880,664	-1,572,880	-6,046,000	582,960
共通部分の経費按分	1,984,364	2,223,243	3,661,273			7,868,880
会費収入等分配	50,250	106,250	93,500			
<b>&lt;按分後営業損益&gt;</b>	307,930	1,962,139	-1,687,109			582,960

\* 総務・共通部分の按分は、居宅/訪問/通所3ヶ所の場合と、居宅/訪問2ヶ所を合計している。

\* 按分率は2011年度予算事業高に基づいて計算

\* リース料(ファックス複合機を除く)については、居/通/訪を4/2/4で計算

第 3 号議案 理事改選の件

第 4 号議案 職員代表選出の件

第 5 号議案 代表理事報酬の件

代表理事報酬月額 250,000 円